

「読むこと」の指導に重点を置いた学習過程の工夫・改善

【宮代町教育委員会】

- 1 学校、学年、教科 小学校 全学年 国語を中心として
- 2 ねらい 国語科を中心として、「読む」→「気づく」→「書く」→「伝え合う」の学習過程を充実させることにより「読む能力」の育成を図る。
- 3 取組内容

○学習過程の工夫・改善

【学習過程の共通理解】

① **読む(声を出す)** 題名を読む 詩を読む (既習の確認・今日の気づき) 音読させる

＜「題名を読む」とは＞

- 1 内容への興味を高め、読みの意欲を高める
- 2 題名読み後、必ず何らかの疑問を持たせる (今までの学習を活かして推論させる)
子どもの主体的な学びにつながる
- 3 子ども自身による読みの方向付けをしていく ～本時の課題に導く～
その後の読みの活動においても、
常に課題に対する意識を持って取り組むことができる



＜音読指導のポイント＞

～音読のねらいを明確に～

- ①読んで自分の考えを深める
 - ②音読の練習のために
 - ③今日の学習範囲の確認のために
 - ④今日のねらいの読み取りのために
- 読み終わって時間がある限りくり返し読む



② **気づく(読み取る)**

大事な言葉を見つけ、要旨や主題を正確に読み取らせる。

③ **書く**

読んで気付いたこと・わかったこと・心に残ったことを書き込む。

～ワークシートの活用・付箋カード・吹き出しに書く・書き込む

書いて自分の考えを確かめる～



書き込み



付箋の活用



ワークシートの活用



④ 伝え合う

「書く・話す」活動を意図的・計画的に設定し、伝え合う場面を設ける。

自分の意見を話す

グループ・ペアで話し合う

～交流で深める（子どもたちの学びあい）～



ペア学習（対話）



グループ学習（学び合い）



全体での話し合い ～子どもの考えを重ねて深める（全体での学び合い）～



教師と共に考える



構成を動作化



サイドライン

聞く 「人の意見や考えを聞き・自分の考えを深める」

※ **聞く時の合言葉**・・・「目」「姿勢」「心」のポイントを押さえて

【学び方の約束(掲示物作成)】

すべてのクラスに掲示

(子ども・保護者・教師全員がわかる掲示物)



4 成果と課題

- 学校全体で「音読」や「姿勢」等の基本的なことの共通理解や「授業の流れ」の方法について学んだことにより、すべての学級において確実な指導を実践することができた。
- 児童の意欲を高めながら、正確に読み取り、さらには深い読み取りができるようになった。

△国語科の研究から教育活動全体への発展が課題である。